

様式14

下請代金支払状況等調査表

- ・下請業者毎に別葉としてください。
- ・労務、材工一式（注）毎に別葉としてください。

下請業者名 \_\_\_\_\_  
 工事名 \_\_\_\_\_  
 工事場所名 \_\_\_\_\_

問1	発注者から受けた前払い金額は	円
問2	下請業者に対する前払金の支払について ①工事着手に必要な費用を現金で支払った ②工事着手に必要な費用を現金と手形で支払った ③工事着手に必要な費用を手形で支払った ④発注者から前払金の支払いを受けたが、下請業者には支払っていない	該当番号 _____
問3	問2で②と回答した場合、現金と手形の支払比率は	現金 割 手形 割
問4	問2で④と回答した場合の理由について ①下請業者が前払金の請求を放棄したため ②下請業者に保証人等を立てることを請求したが、これを立てなかったため ③自社の運転資金としたため ④前払金の支払が遅れたため ⑤自社の資材購入等、当該工事に使用したため ⑥下請業者が保証人を立てられないことから部分払、完成払で支払うこととしたため ⑦下請業者との契約上前金払を行うこととしたが、部分払と完成払で支払ったため ⑧下請業者との契約上前金払を行うこととしたが、完成払のみで支払ったため ⑨その他（その理由を具体的に記入して下さい。）	該当番号 _____ 理由：
問5	①下請業者に下請代金を支払った日は（最終） ②発注者から支払いを受けてから①までの日数は （下請業者から引渡しの申し出があった日から①までの日数は） ③支払った金額は（支払った下請代金の合計）	____年 ____月 ____日 ※ ____日 □ _____円
問6	下請業者に対する完成払の支払方法について ①完成払に相当する額を現金で支払っている ②完成払に相当する額を現金と手形で支払っている ③完成払に相当する額を手形で支払っている	該当番号 _____
問7	問6で②と回答した場合、現金と手形の支払比率は	現金 割 手形 割
問8	問6で②又は③と回答した場合、最長の手形期間は	____日

注1：問5の支払状況等がわかるものを添付してください。（領収書の写し等）

注2：労務 — 労務下請（労務の提供を主とする下請契約）  
 材工一式 — 材工一式（外注）下請（材料・機械と労務の提供を一括した下請契約）

※：元請が特定建設業者であり、下請が資本金の額が4,500万円未満で一般建設業の場合は（ ）書きによる日数と比べ長い方を記載してください。（ ）書きの日数となる場合は□にチェックしてください。